



林業専用道技術者研修①  
研修初日(H24.6.20)

①  
いよいよ今年度最初の研修がスタートしようとしています。教室の中に緊張感が漂います。

今回の研修生は総勢22名。これから3日間、よろしくお願ひします。



②  
そしてほどなくして・・・川添峰夫指導普及課長の開講挨拶で幕が開きました。

挨拶では、森林・林業再生プランの推進に必要な路網整備への期待と路網整備に必要な技術者の養成にける思いなど、研修生へ熱いエールを送りました。



③  
挨拶の後は、オリエンテーションです。今回の研修でファシリテーター(司会進行や時間管理を行う人のこと)を努める高田悟森林技術普及専門官の登場です。

講義の始まる前に研修の内容や目的、施設の説明をします。また、特徴的な机の配席(班毎に固まっています)についても解説します。この研修の特徴としてグループ演習形式の研修方法を採用しているのでこのような机の配置



④  
さあ、講義の開始です。最初は澤井孝仁講師による「新たな路網の整備について」と題しての講義です。



⑤  
講義の後はグループ演習の始まりです。班毎に検討を進めます。共通の資料(平面図、縦・横断面図など)に基づき議論を深めます。



⑥  
最後は振り返りの時間です。今日を振り返って、気づいたことや調べてみたいこと等忘れないう今日自分の自分に対してメモを残します。

メモを書き終えた後は、1人ずつメモを読み上げます。班ではほぼ全員が初対面です。各人の個性や経験等を知る上でも振り返りメモの読み上げは効果的です。一人一人の疑問点や悩みを班全体で共有します。



### 研修2日目(H24.6.21)

①  
今日は現地です。午前と午後  
に2箇所を現地を踏査します。

現地はいずれも昨日のグル  
ープ演習で図面を見ながら入念に  
路線等の検討を行った道です。



②  
今日から(株)森林テクニクスの  
奥谷由行講師が本格的に参加  
となります。  
(実は昨日のグループ演習でも  
各班個別に回って色々なアドバ  
イスをもらいました)



③  
現地も班に分かれて行動しま  
す。  
昨日机上で検討した箇所を確  
認して回ります。

一通り確認し終えた後は再度検  
討を行います。



④  
帰路は全員まとめて行動しま  
す。

予定していた検討ポイントに立  
ち止まるとは、意見交換を行  
います。



⑤  
夕方、研修室に戻ってから明日  
の発表に備え考え方をまとめま  
す。



⑥  
現地を思い出し、修正箇所等  
について意見を出し合います。



研修最終日(H24.6.22)

①  
あつという間に研修も最終日です。  
しかしながら、ゆっくりとした朝を過ごせるわけではありません。  
これから始まる発表に備え打合せを入念に行います。



②  
いよいよ発表のスタート。順番に前に出て発表します。そうそう、発表の際は班員全員が前に出ます。  
発表は班の代表者が努めた班もあれば、班員が交代しながら説明を行った班もあります。



③  
説明する内容は？といえますと、、、机上で検討した内容や現地を見てから変更した内容等結論を導き出すに至った理由を踏まえて説明します。



④  
発表の後は質疑応答です。研修生からの質問に対し丁寧に答えます。  
また、全ての班の発表が終わった後で講師の講評も行います。発表時に使用した図面を並べて張り出すことで、他の班との違い等を確認することができます。



⑤  
発表後は研修最後の講義となります。設計のポイントについて、奥谷講師から説明があります。  
また、講義の後は研修全体を通じた質疑応答をし、研修は終了となります。



⑥  
3日間と短い期間でしたが、お疲れ様でした。  
研修後も連絡を取り合う等親交を深めてもらえればと思います。